



# 近畿自然歩道 23 万葉の糸我の山を訪ねるみち



1 渡し船跡

有田地域の熊野古道の出発点。有田川は畷れ川(あれかわ)から安藤川を経て流れ、川が増水した時には渡し船に川止めの手が立てられた。



2 いとがら糸我村の一里塚

江戸時代の初期紀州藩が熊野街道整備の一環として築いた。明治に入り道路拡張等によって大幅に削られたが、交通史を知る上で貴重な文化財とされている。



3 いとがねりじんじょう 糸我稲荷神社

創建は37代孝徳天皇の時代とされ、奈良時代の京都伏見稲荷神社の創建より約60年も前に遡ることから、最古の稲荷神社であるといわれている。



4 いとがおうし 糸我王子

後鳥羽上皇の「熊野御幸記」に名が出てくるもの、近世には廃絶していたらしく、廃糸我王子と呼ばれることもある。平成に入り地元の人々により再建された。

## 交通情報

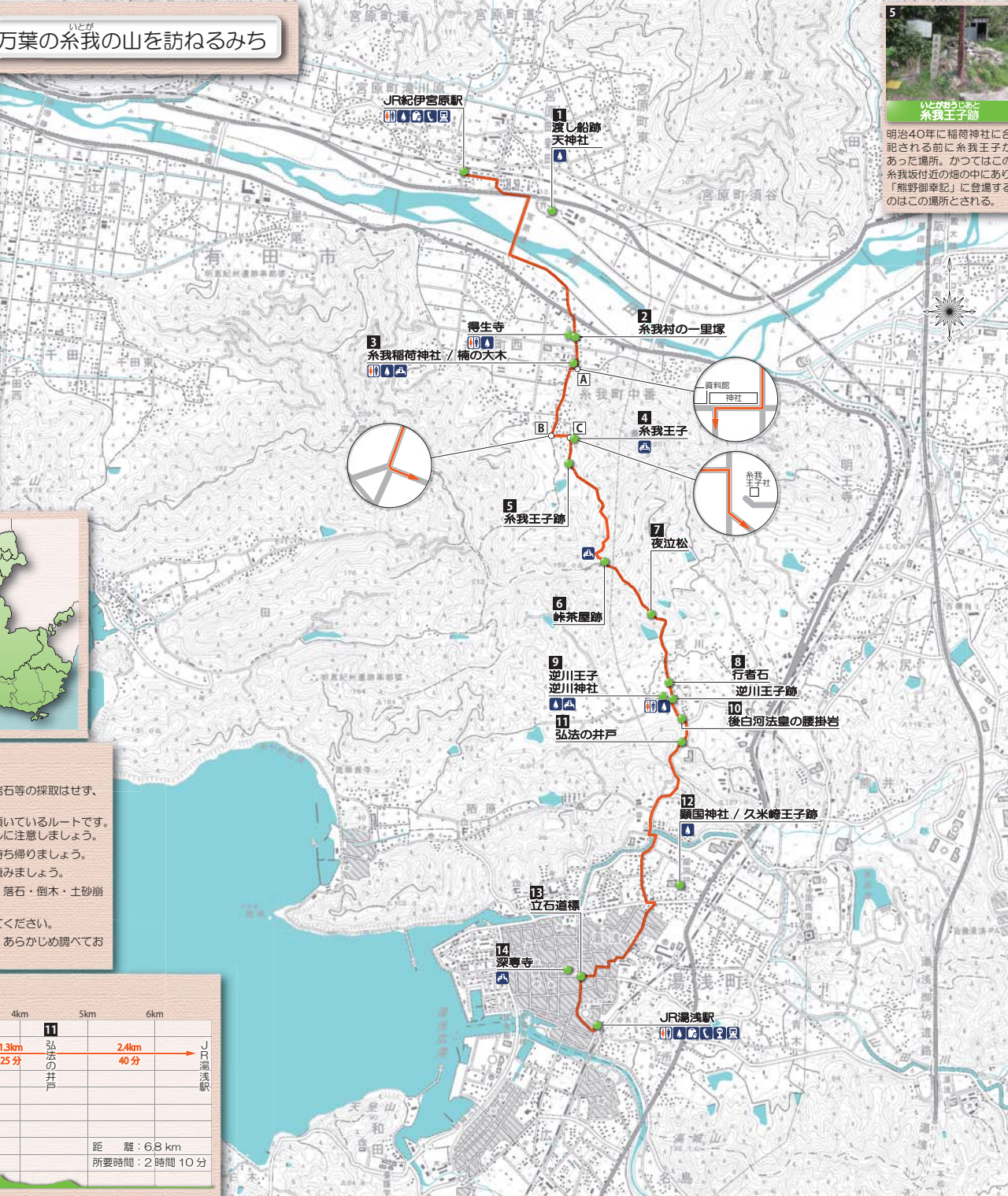
- ▼ 起点: JR紀伊宮原駅 (有田市宮原)
  - ・ 運行頻度: 1日20本以上
  - ・ JR紀伊宮原駅
  - TEL: 0737-88-7041
- ▼ 終点: JR湯浅駅 (湯浅町湯浅)
  - ・ 運行頻度: 1日20本以上
  - ・ JR湯浅駅
  - TEL: 0737-62-2325



## 注意事項

- ▼ 自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼ 近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ ゴミ・空き缶・ビン・ペットボトル等は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼ 沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
- ▼ 山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼ 車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼ 交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

## 行程図



5 いとがおうしと 糸我王子跡

明治40年に稲荷神社に合祀される前に糸我王子があった場所。かつてはこの糸我坂付近の畑の中にあつた「熊野御幸記」に登場するのはこの場所とされる。



6 とつげちゅうやと 峠茶屋跡

江戸時代、道を挟んで2軒の茶屋があり旅人の休憩所として賑わった。特に年末に糸我坂付近の畑の中にあつた「熊野御幸記」に登場するのはこの場所とされる。



7 よなきまつ 夜泣松

平清盛の熊野詣に同行していた女性が、子供の夜泣きに困って地元民に相談したところ、この松の皮をくすくすに販売したことで大変な好評を得たといわれている。



8 ぎょうじゅういし 行者石

昭和の大水害の復旧工事の際、川底から見つかった石をこの場に移した。かつて熊野詣が盛んな頃はこの岩の上に乗れ、井戸水で体を清めていたといわれる。



9 さかさかむらうし 逆川王子

郡内の逆川の川が西に向かって流れるのに対し、この川だけが東に向かって流れているのがその名の由来。逆川の名は周辺の地名にもなった。県指定史跡。



10 しろくわほうろう 後白河法皇の腰掛石

鎌倉時代に後白河法王が熊野参詣の際、腰を掛けたといわれる石。



11 こうぼう 弘法の井戸

弘法大師が杖で突くと水が湧き出したという伝説がある井戸。ただし、現在は飲用には適さない。



12 けんこくじんじょう 願国神社

3月に行われる獅子舞は無形民俗文化財に指定されている。また、境内には県の指定史跡である久米崎王子(くめさきおうし)の跡地もある。



13 たていしあしるべ 立石道標

江戸時代後期に熊野街道跡に建てられた道標。右の四面に東西南北の方角、三面に巡礼地の名が刻まれている。夕方になるとライトアップされる。



14 じんぜんじ 深尊寺

奈良時代の僧侶行基により、海蔵院という寺として創建されたのが起源とされる。平安時代に入ると熊野詣の隆盛と共に発展していった。本堂は県指定有形文化財。



A 写真手前から神社の角を右へ進む、すぐに左へ。



B 写真手前から左へ。



C 写真手前から右へ。

- ### 凡例
- トイレ
  - 水場
  - 休憩所
  - 売店
  - 公衆電話
  - 駐車場
  - バス停
  - 駅



和歌山県 Wakayama Prefecture  
 環境生活総務課 自然環境室  
 〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1  
 TEL: 073-441-2779  
 FAX: 073-433-3590  
 メール: e032004@pref.wakayama.lg.jp

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図情報)を複製したものである(承認番号 平22近環、第68号)。